

# 創立100周年記念 ワールド・ツアー 2014

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部 部長 松田 亜有子



マドリッド公演 © R.Martin



バンコク公演会場ロビー

2011年、東京フィルは創立100周年を機に「世界を駆ける日本の力」をテーマに、“日本人によるクラシック音楽”の今を伝えるシリーズを打ち出してきた。

この100年の間に日本が世界に学び、独自に培ったクラシック音楽文化を集大成した本シリーズは、日本のクラシック音楽がもはや「西洋の模倣」ではなく、「日本固有の芸術」であることを明らかにし、日本の楽壇が向かうべき“次の100年”の方向性を示したものである。

それから3年。グローバル化が進み、日本文化を見直して発信しようという動きがますます高まる中、日本文化に根付いた私たちのクラシック音楽を海外で今こそ問うてみたい、と、ワールド・ツアーが計画された。

今年3月、黛敏郎『BUGAKU』をメインに、ニューヨーク、マドリッド、パリ、ロンドン、シンガポール、バンコクと3大陸6カ国を楽団員130名と共にまわった。

各国素晴らしい天気にも恵まれ、大盛況、終演後の盛り上がりはほとんどロックのライブの終わりに近い熱狂に包まれた。

ツアー初日のニューヨーク公演翌日にはニューヨークタイムズ紙、フィナンシャルタイムズ紙、そしてNBCによる全米放送等、大きく公演のことが報道され、同じく日本でもフジテレビや日本テレビ、NHK等の主要メディアが公演の成功と東京フィルの歴

史を取り上げてくれた。それがヨーロッパにも伝わり、パリ公演の当日券窓口では長蛇の列。ツアーが始まる前に、ニューヨーク、マドリッド、シンガポール、バンコクは完売の状態だったが、パリ、ロンドンは最後の最後に追いつけた。

## 日本のオーケストラを自ら聴きに 来てくれるお客様を開拓 チケット販売や宣伝も手がける

これまで日本のオーケストラが海外ツアーをする時は、チケット販売も宣伝も海外エージェントに丸投げしてやってもらうことがほとんどだったと思うが、そのやり方だとエージェントは常に同じお客様に呼びかけ集めるだけで終わってしまう。そうではなく、日本のオーケストラを自ら聴きにきてくれるお客様を広く開拓するために、主催公演であったニューヨーク、パリ、シンガポールはもちろん、その他の都市でも、私たちが宣伝や販売も手がけた。実際、私はツアー広報統括責任者として、現地に公演1カ月前に足を運び、主要メディアにアポを取り話し、現地での広報キーパーソンに会い、広告、広報計画を現地で一気に練り直した。その土地にふさわしいPR方法というのは、やはり現地に行かないと解らないことであり、プログラミング背景やツアーの意義のようなものを細やかに話して

ゆく営業というものがとても大事ということを実感した。日本の音楽団体が海外公演をした時の公演評で、「会場内はほとんど日本人で埋まっていた」という皮肉めいた記事が時々載るが、それだけは絶対に避けたく、日本の音を現地の方に聴いて欲しいという、ほとんど執念に近い気持ちで動いた。その結果、日本人の聴衆を見つけることが難しいほど現地の方々で埋まり、パリにおいては「この10年でこんなに盛り上がった公演は初めて。素晴らしい文化外交です」と大使館の方からお言葉を頂いた。

## これから

ワールド・ツアーに同行した三木谷浩史理事長は「このツアーによって、東京フィルは日本のプレゼンスを十二分に示した。当初『BUGAKU』のような難しい曲が受け入れられるか不安はあったが、それは杞憂だった。そのチャレンジによって東京フィルは真の“日本代表”になったと思う」と語った。

私達にとって初めてのワールド・ツアー。プログラミングの段階から手探りで、さまざまな軌道修正を重ねてきた。日本のオーケストラ、日本の作品が世界で認められた自信と共に、さまざまな課題も明確になった。次の100年に向けて、大きな収穫のあったツアーだった。



ニューヨーク公演アンコール © N.Mayumi



パリ公演 © Tean Philippe Raibaud



ロンドン公演 © Clive Barde

## 公演日程

公演日	都市	会場
3 / 11 (火)	ニューヨーク	アリス・タリー・ホール
3 / 14 (金)	マドリッド	スペイン国立音楽堂
3 / 16 (日)	パリ	サル・プレイエル
3 / 17 (月)	ロンドン	カドガン・ホール
3 / 20 (木)	シンガポール	エスプラネード
3 / 13 (日)	バンコク	プリンス・マヒドン・ホール

【指揮】大植英次

【ヴァイオリン】竹澤恭子

【管弦楽】東京フィルハーモニー交響楽団

## プログラム

ニューヨーク、マドリッド	黛敏郎	BUGAKU
	小山清茂	管弦楽のための木挽き歌
パリ、シンガポール	ストラヴィンスキー	バレエ音楽『春の祭典』
	黛敏郎	BUGAKU
ロンドン、バンコク	チャイコフスキー	ヴァイオリン協奏曲 二長調
	ストラヴィンスキー	バレエ音楽『春の祭典』
ロンドン、バンコク	黛敏郎	BUGAKU
	チャイコフスキー	ヴァイオリン協奏曲 二長調
	プロコフィエフ	バレエ組曲『ロメオとジュリエット』より
	バーンスタイン	組曲『ウェスト・サイド物語』より「シンフォニック・ダンス」